

園だより 5月

これは、主がなさったことで、私たちの目には不思議に見える。

マルコによる福音書 12章 11節

始園式・入園式を終え、日差しの温かさが感じられる季節となりました。気温の上昇により「夏日」が記録される日もあり、子どもたちの服装も半袖・短パン姿が増え、季節の移り変わりを感じております。新年度が始まり、早くも一か月が過ぎようとしています。子どもたちは、新しいお部屋、新しい友だち、新しい先生といった環境の中で、少しずつその生活に慣れ親しんできています。これまでとは異なる雰囲気の中で、「どんな先生だろう」「お友だちと一緒に遊べるだろうか」など、さまざまな思いや期待、不安を抱きながら日々を過ごしていることでしょう。こうした心の動き一つひとつが、子どもたちの「今」の成長にとって大切な糧となっています。その一方で、知らず知らずのうちに疲れや緊張を感じていることもあるかと思えます。ご家庭で過ごす時間が、子どもたちにとって心安らぐひとときとなるよう、温かく見守っていただけますと幸いです。

さて、園庭の様子についてご紹介いたします。毎朝、教職員は園庭の清掃や環境づくりを行い、子どもたちが安心して遊べる準備を整えています。登園した子どもたちは、教室での身支度を済ませると、それぞれが興味を持った遊びへと向かっていきます。思いついた遊びをその場で始める子もいれば、前日から楽しみにしていた遊びに取り組む子もいます。最近では、年少組の子どもたちが手押し車を選び、園庭を元気に走り回る姿が見られます。お気に入りの道具を見つけて運び、ダンゴムシ探しや水たまり遊びなど、日ごとに遊びを広げています。時にはお友だち同士で思いがぶつかることもありますが、その経験もまた大切な学びの一つです。自分で遊びを選び、工夫し、困ったときには周囲に助けを求めながら関わる姿に、確かな成長を感じています。

先日、第一回虹の会役員会が行われました。今年はどうのような「虹」が描かれていくのか、今から楽しみにしております。それぞれの年度ならではの歩み（虹）を大切にしながら、教職員一同も共に歩んでまいります。

また、白木蓮の総会も開催されました。白木蓮は虹の会の歴代会長の皆様による会であり、江東幼稚園および江東コミュニティーセンターを支える大切な活動を担ってくださっています。

今月からは行事も増えてまいります。保護者の皆様には引き続きご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

園長 草分 俊一